

世界連邦宣言

いまひとつの世界を

自治体協新聞

発行 自治体協
世界連邦宣言 全国協議会
(事務局=総都市)
〒623-8501 綾部市若竹町8-1
TEL (0773) 42-3280
FAX (0773) 42-4406

第26回世界連邦日本大会in大阪

世界連邦を明日の現実

第26回世界連邦日本大会(植木光教大会長)を11月4日、大阪市で開催。大会テーマは「世界連邦運動の新たな幕開け」実現しよう、世界の平和と人類の共生」。北朝鮮の核実験などをきっかけに、平和問題に関心が高まる中、中之島公会堂は10000人を超える参加者で埋まりました。

オープニングは地元の興國高校野球部員による「興國ソラン」と宣真高校ダンスバトン部員が登場。若さあふれる演技を披露しました。

税所涼子実行委員長は「世界連邦運動を身近で分かりやすい運動として次世代に伝えていく使命が私たちの世代にはあります」とあいさつ。黙祷などに続き、来賓の太田房

江大阪府知事が「戦争の記憶を風化させない取組みが求められる中、世界連邦運動は、中心的な役割を担っている」と祝辞を述べました。

この後、四方会長がプレゼンターとなり昨年8月の国会決議に功績のあった植木会長、日本国会委員会森山真弓会長、同顧問中野寛成さんの3人に感謝状を贈呈。四方会長は「国会決議実現に尽力された皆さんの功績を讃えたい。湯川秀樹氏の『世界連邦は昨日の夢であって明日の現実である』の言葉どおり、現実に向けて関係者の力を結集しましょう」と訴えました。

政策フォーラムを開催

政策フォーラムでは、昨年8月の世界連邦国会決議を受けて、外務省の世界連邦運動

窓口となった外務省総合外交政策局に対し、「世界連邦実現に関する政策提言」を今年6月に提出したことが報告されました。提言の内容は、国連改革や国際刑事裁判所(ICC)への早期加入、東アジア共同体の創設の3点から構成されています。

森山会長はフォーラムで「来年の通常国会では、日本のICC加入が審議される可能性が高まりました。世界連邦実現という私たちの願いはかなう方向に進んでいます」と述べました。また、植木会長からは日本の世界連邦国会決議は、各国が続くべき模範であると今年10月に開催されたニューヨークの世界連邦運動本部の理事会で、大きな評価を



力強いダンスを披露した宣真高校の生徒

得たとの報告がありました。大会は「世界で唯一の被爆国であり、平和憲法を持つ日本国民は、世界に先駆けて世界連邦を実現させる運動の先頭に立たなければならぬ」とする宣言文を採択。参加者らは、世界連邦運動の新たな展開を誓いました。

天国に近づく生き方を

日本ユニセフ協会大使のアグネス・チャンさんを講師に記念講演会を開催しました。「日本では当たり前の子育て。しかし、ユニセフの調査では5歳までに死亡する子どもは年間1100万人。戦争や貧困が主な原因となっていると報告。戦争があると子どもの死亡率は13パーセントも拡大



感謝状を贈呈し固い握手を交す会長と森山会長

します。戦争が終わった以降5年間の死亡率は11パーセント。戦争のダメージは、子どもたちの成長に暗い影を落とし続けます。

ボランティアとの出会いは中学時代。障害を持った子どもたちが入所する養護施設を慰問し、自分の幸福な環境に気がきます。自分のことだけを考えて生きていくと苦しくなります。他人のことを考える行動することで、楽に生きられるようになりました。

天国と地獄は人の心の有様で変化します。他人を思うことで天国は近づき、自分のことのみを考えていると地獄に陥ります。天国に近づく生き方を続けたい」と結び喝采を浴びました。



天国に近づく生き方と訴えるアグネス・チャンさん



四方会長が富山市で講演

平和を願う半世紀

富山県と富山市は昭和32年9月27日に世界連邦宣言を同時に行いました。

10月22日、宣言50周年を記念し、富山市の「高志会館」で講演会を開催。「混迷の時代を切り開く世界連邦―一滴の水を大河に」と題して四方八

洲男会長が講演を行いました。参加した約250人の関係者らは、世界連邦と中東和平の早期実現を誓い合いました。

世界連邦は民主主義で

会長は「東京に向かう新幹線の車中、エルサレム市と友好関係にあり、かつ世界連邦宣言1号都市としての使命は？戦争の犠牲者である子どもたちに、わずか1週間でも、紛争のない平和で美しい国を体験してもらい彼らの心をいやしたい。素朴で純粋な願いから生まれたプロジェクトである」と結びました。

つた」と当時を振り返りました。テルアビブ空港でパレスチナの子どもたちを3時間待ち続けたイスラエルの子どもたち。父親を喪い失意の少女によみがえった笑顔。プロジェクトが生み出した数々の成果も紹介しました。

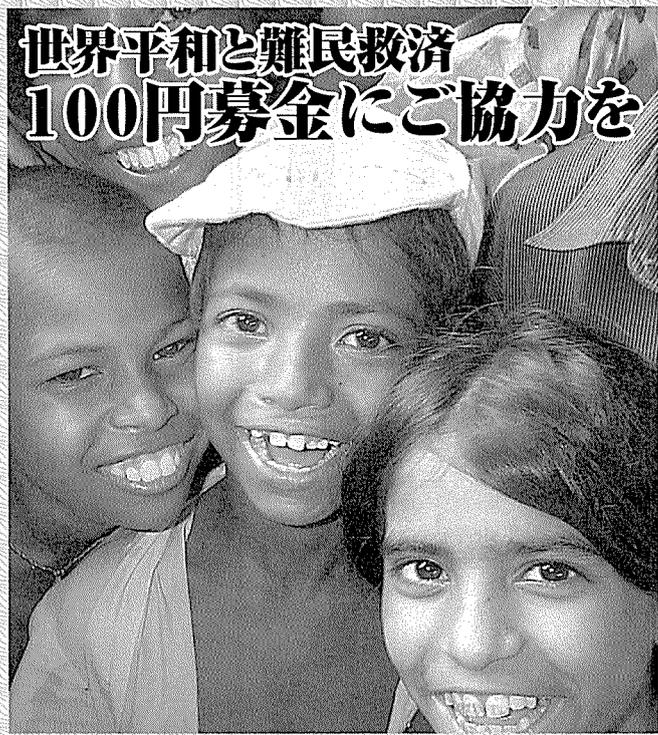
EUや東アジア共同体などに見られる地域統合が進展する中、今後これらの共同体が強固な連携を図ることが重要な政治的な共通性がある民主主義社会間での世界連邦構築が、最も可能性の高い道であると結びました。

編集室から
輝いていたアグネス

♪丘の上ひなげしの花で、確か中学生だった。ブラウン管を通して聞こえてきた流行歌。透き通るような高い声。ヒット曲「ひなげしの花」とともにアグネス・チャンは、私の記憶に刻まれた。あれから30余年。先日、大阪で開かれた世界連邦日本大会の会場で、アグネスに再会(も)つとも、筆者の一方的な再会だが、:)した。

壇上の彼女は、時の経過を感じさせない、かつての容姿のまま登場。世界の子どもたちの救済を訴えた。相変わらずの愛らしい声で:。

香港から単身日本に渡り歌手になった道のりやアイドル歌手として活動する中で芽生えた意識。ユーモアや美しい歌声を交えながらの講演。予定した1時間はあつという間だった。淡い恋を歌う姿より、子どもたちの救済を訴えるアグネス・チャンさんは、誇り高くさらに輝いていた。(N)



世界平和と難民救済
100円募金にご協力を

5年間で5700万円募る

「世界平和と難民飢餓救済のための自治体職員1人100円募金」を今年度も実施します。世界連邦宣言自治体をはじめ募金の趣旨に賛同いただける全国の自治体職員に広く協力を呼び掛けます。

過去5年間の募金実績は、平成13年度が1688万円、平成14年度は1378万円、平成15年度は792万円、平成16年度は922万円、昨年度は881万を集め、過去5年間で約5700万円も

の善意が自治体職員の皆さんから寄せられてきました。募金は、日本国連高等弁務官事務所とユニセフに寄託。世界の難民の保護と援助。発展途上国の子どもたちや妊婦らの保護衛生、教育などに役立てられました。

平成16年の募金から「世界平和の実現は中東和平から」を基本理念に、中東和平活動を支援。募金のうち500万円は事業を実施する自治体や実行委員会に補助させていただきます。皆さんのご支援とご協力をお願いします。